

様式(細則 5-2)

平成 年 月 日

浜田市議会議長 牛尾 博美 様

議員名 西田清久



## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 平成22年10月29日(金) 7:00 ~  
平成22年10月30日(土) 20:30まで
2. 研修内容
  - ・ 梶原町の町産材を利用したエネルギー循環型社会づくりについて
  - ・ 清流四万十川の水源の森林づくりシンポジウム
3. 研修先  
高知県 梶原町 高知市
3. 調査経費 3000 円  
(経費内訳 研修会参加費 )
5. 調査研究活動の概要

別紙報告書のとおり



## 林業研修会（島根県水源造林協議会栲原町研修）参加報告

- 1、視察先            高知県栲原町 高知市
- 2、期間             10月29日～30日
- 3、研修概要

豊かな森林から生まれるエネルギー循環型社会づくりのまち高知県栲原町は、全国13箇所の一つ「環境モデル都市」に認定され、風・光・水・土森林などの自然エネルギーを活かした低炭素なまちづくり・自然エネルギー自給率100%を目指している。

風車2基、太陽光発電、小水力発電、地熱発電、木質バイオマス（ペレット）などの事業を進めている。また木造の総合庁舎、屋根付き木橋、木の車道橋など多くの公共建造物に木を活用している。

10月29日

はじめに栲原町総合庁舎を視察、全体が木造でモダンな建物であるが、冷暖房は木質ペレットを使用していた。役場、金融機関、JAなどが入っているが大変明るく、機能的であった。特に印象深かったのは議会の議場が本会議以外るとき、一般にも使用できるようにと、議長席が壁面に収納されるようになっていた。その後、木質ペレット製造工場を視察。

10月30日

高知市高知商工会館において、清流四万十川の水源の森林づくりシンポジウムに参加、研修。

水源林造成事業のこれまでの展開と効果、水源の森づくり、民有林と国有林が連携した森林の整備について講演と事例発表を聴き、意見交換をした。